

2017年10月11日

EVS 31 事務局

2018年秋、第31回国際電気自動車シンポジウム・展示会

「EVS 31」を12年振りに日本で開催

— 参加登録、論文、出展の申込受付いよいよ明日から開始 —

一般財団法人日本自動車研究所（所在地：東京都港区 理事長：山根 庸史 略称：JARI）は、2018年9月30日～10月3日（4日間）、第31回国際電気自動車シンポジウム・展示会（The 31st International Electric Vehicle Symposium and Exhibition）EVS 31 を、神戸コンベンションセンター（所在地：兵庫県神戸市中央区港島中町）にて開催します。

EVS は、電気自動車、ハイブリッド電気自動車、燃料電池自動車など電動車両について研究発表や展示を行う、同分野における世界最大のシンポジウム・展示会で、北米、欧州、アジア太平洋の三地域で交互に開催されています。第1回開催は1969年米国アリゾナ州フェニックスで、半世紀近い歴史があります。

EVS の日本開催は、EVS13（1996年10月・大阪）、EVS 22（2006年10月・横浜）に続く3回目で12年振りのこととなります。

EVS 31 では、そのテクニカルセッション（論文発表）を公益社団法人自動車技術会（所在地：東京都千代田区 会長：松本宜之 略称：JSAE）が主催する国際会議、EVTeC 2018（国際EV技術会議）として実施します。

このたび、EVS 31 への参加登録、論文募集、出展募集を10月12日（木）より開始します。希望者はEVS 31 の公式Webサイトで参加登録や出展申込、論文投稿を行うことができます。また、スポンサー募集も順次開始する予定です。

電動車両は、地球温暖化問題や省エネルギー、脱石油への対応手段として、各国が大きな期待を寄せ、その普及に向け注力しています。さらに、近年ではバッテリーおよびその制御技術の向上により、電動車両を“電源”として活用することのほか、AIやIoT技術等の進展を背景とした『知能化』や『コネクテッド』をキーワードに、次世代モビリティとして電動車両から新たな価値を創造することについても注目されてきています。そこでEVS 31 は、このような社会機運の高まりに対し、次世代モビリティを核とした新たな価値を持つ社会像とそのための技術革新について国際的に議論する場とし、社会を次のステップへ導く契機とすることを主旨として開催します。

EVS 31 では、世界各国の研究者、技術者、企業、政府関係者、電動車両関連団体等が一堂に会し、最新の研究発表や活発な議論が行われます。また最新の電動車両や技術等が出展され、電動車両に関する最新情報が日本に集まる得難い機会となります。

第31回国際電気自動車シンポジウム・展示会（EVS 31）

開催概要

イベント名： EVS 31

EVS 正式名：International Electric Vehicle Symposium & Exhibition

EVS 日本名：国際電気自動車シンポジウム・展示会

会 期： 2018年9月30日（日）～ 10月3日（水）

会 場： 神戸コンベンションセンター（神戸国際会議場・神戸国際展示場）

神戸国際会議場： 兵庫県神戸市中央区港島中町 6-9-1

神戸国際展示場： 兵庫県神戸市中央区港島中町 6-11-1

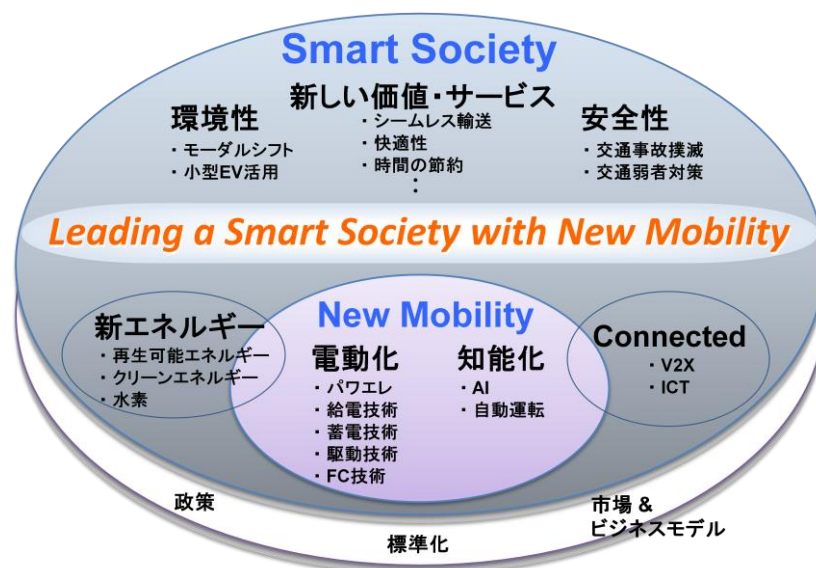
Web サイト： <http://www.evs31.org/>

〔使用言語〕 英語、一部日本語ページ有

開 催 主 旨： 次世代モビリティを核とした新しい社会像と技術革新について国際的に議論する場を提供し、社会を次のステップに導く契機とする。

開催テーマ： Leading a Smart Society with New Mobility

開催コンセプト： 電動車両は、AIやIoT、自動運転技術等を取り込み、単なる移動・輸送手段としてだけでなく、ニューモビリティとして新たな可能性を育みつつある。EVS 31では、ニューモビリティを取り巻く技術や、安全でクリーン、さらには新たな価値・サービスを持つスマート社会について訴求していきたいと考える。



実施内容： プレナリセッション（開会式、基調講演、パネルセッション、閉会式）
 （予定） テクニカルセッション（オーラルセッション、ポスターセッション、
 スペシャルセッション）
 展示会、試乗会、テクニカルツアー

主催： 一般財団法人日本自動車研究所（JARI）

共催： World Electric Vehicle Association（WEVA）※1
 Electric Vehicle Association of Asia Pacific（EVAAP）※2
 公益社団法人自動車技術会（JSAE）

※1 WEVA：EVSの運営とEVの普及促進を目的として1990年に発足した国際組織。

※2 EVAAP：アジア太平洋地域における電動車両の普及促進を目的に1990年に設立された。

後援： 経済産業省、国土交通省、環境省、兵庫県、神戸市、（国研）新エネルギー・産業
 技術総合開発機構、（一社）日本自動車工業会、（一社）システム制御情報学会、
 （一社）次世代自動車振興センター、（一社）人工知能学会、（一社）CHAdeMO
 協議会、（公社）電気化学会、（一社）電気学会、電気事業連合会、（一社）電気
 設備学会、（一社）電子情報技術産業協会、（一社）電子情報通信学会、（一社）
 電池工業会、（一社）電動車両用電力供給システム協議会、（一社）日本EVクラ
 ブ、（一社）日本自動車部品工業会、日本自動車輸入組合、（一社）日本配線シス
 テム工業会、パワーエレクトロニクス学会（予定含む）

実施日程表（予定）

	午前	午後	夕方/夜
9月30日（日）	展示会・試乗会	プレス・パブリックデー 展示会・試乗会	歓迎レセプション
10月1日（月）	開会式・基調講演 テクニカルセッション 展示会・試乗会	パネルセッション テクニカルセッション 展示会・試乗会	
10月2日（火）	基調講演 テクニカルセッション 展示会・試乗会	パネルセッション テクニカルセッション 展示会・試乗会 テクニカルツアー	ガラディナー
10月3日（水）	基調講演 テクニカルセッション	パネルセッション テクニカルセッション 授賞式、閉会式	

受付概要

詳しくはWebサイト (<http://www.evs31.org/>) をご覧下さい。

種別	受付開始日	申込締切日	申込方法
参加登録	2017年10月12日(木)	2018年9月20日(木)	Webのみ
論文	2017年10月12日(木)	2017年12月20日(水)	Webのみ
出展	2017年10月12日(木)	2018年1月31日(水)	メール、Fax

参加・出展費用の概要

詳しくはWebサイト (<http://www.evs31.org/>) をご覧下さい。

参加種別	料金(税込)
参加登録(一般・早期) 2018年8月20日までの申込	¥55,000
参加登録(一般・事前/当日) 2018年8月21日以降の申込	¥60,000
参加登録(学生)	¥20,000
プレナリ券	¥20,000

- 上記の他に各種オプションチケット等があります。
- 「プレナリ券」では、テクニカルセッションを除く開会・閉会式、基調講演・パネルディスカッションが聴講できます。
- 展示会・試乗会の参加は無料です。

出展費用項目	料金(税込)	備考
企業・商業展示 スペース小間(3m×3m)	¥324,000	スペースのみのお引渡し
パッケージ装飾費	¥129,600	お申込小間数と同数のお申込が必要
学術・研究展示(3m×3m)	¥237,600	上記パッケージ装飾費を含む。主催が研究・学術機関と認定した団体のみ申込可

添付資料： 【参考資料】 EVS の概要

当ニュースリリースに関するお問い合わせは下記にお願いいたします。

報道関係者のお問合せ先

一般財団法人 日本自動車研究所内 EVS 31 事務局 担当：モリタ、ヒラノ

TEL：03-5733-7927 E-mail：evs31press@jari.or.jp

一般のお問合せ先

株式会社 コンベンション リンケージ内 EVS 事務局

TEL: 03-3263-8695/FAX: 03-3263-8693 E-mail：info@evs31.org

【参考資料】

EVS の概要

1. EVS とは

EVS（正式名：International Electric Vehicle Symposium & Exhibition 日本名：国際電気自動車シンポジウム・展示会）は、WEVA*1（World Electric Vehicle Association 世界電気自動車協会）の傘下で、アメリカ、欧州、アジア太平洋の三地域で交互に開催されている、電気自動車（BEV）、ハイブリッド電気自動車（HEV）、プラグインハイブリッド電気自動車（PHEV）、燃料電池自動車（FCV）等、電動車両（以下 EV）関連分野における、世界最大の国際シンポジウムである。

1969年米国アリゾナ州フェニックスで第1回が開催され、日本では1996年大阪（EVS 13）、2006年横浜（EVS 22）に続く3回目（EVS 31）の開催となる。

2. EVS 開催実績・予定

EVS#	開催年月	国	開催地	EVS#	開催日程	国	開催地
1	1969/11	米国	Phoenix, AZ	17	2000/10	カナダ	Montreal
2	1971/11	米国	Atlantic City, NJ	18	2001/10	ドイツ	Berlin
3	1974/02	米国	Washington D.C.	19	2002/10	韓国	釜山
4	1976/09	ドイツ	Dusseldorf	20	2003/11	米国	Long Beach, CA
5	1978/10	米国	Philadelphia, PA	21	2005/04	モナコ	
6	1981/10	米国	Baltimore, MD	22	2006/10	日本	横浜
7	1984/06	フランス	Versailles	23	2007/12	米国	Anaheim, CA
8	1986/10	米国	Washington D.C.	24	2009/05	ノルウェー	Stavanger
9	1988/11	カナダ	Toronto	25	2010/11	中国	深セン
10	1990/12	香港		26	2012/05	米国	Los Angeles, CA
11	1992/09	イタリア	Florence	27	2013/11	スペイン	Balcerona
12	1994/12	米国	Anaheim, CA	28	2015/05	韓国	高陽
13	1996/10	日本	大阪	29	2016/05	カナダ	Montreal
14	1997/12	米国	Orlando, FL	30	2017/10	ドイツ	Stuttgart
15	1998/10	ベルギー	Brusseles	31	2018/10	日本	神戸
16	1999/10	中国	北京				

2-1. 最近の開催規模

●EVS 29		Drive Electric Innovation		www.EVS29.org カナダ・Montreal	
日程	2016年6月19～22日		会場	Palais des mongres de Montreal	
登録者	約570人	論文数	351件	出展社	139社
主要出席者	カナダ天然資源大臣、ケベック州知事、モントリオール市長、米国エネルギー省副次官補、ハイドロケベック CEO 他				

●EVS 28		e-Motional Technology for Humans		www.evs28.org		韓国・高陽	
日程	2015年5月3～6日			会場	KINTEX 韓国国際展示場		
登録者	約700人	論文数	329件	出展社	142社	展示会場	11,000 m ²
出展社	韓国69, 中国20, 英国12, ドイツ8, フィンランド7, 米国6, 日本・スウェーデン・カナダ各3, オランダ2, スペイン・ベルギー・マレーシア・フランス・台湾各1						
主要出席者	韓国セヌリ党党首、環境大臣、米国エネルギー省先進電池材料技術開発マネージャ、現代上級副社長、LG 副社長、GM エグゼクティブディレクター、ルノー上級副社長、日産アライアンスグローバルディレクター他						

●EVS 27		Feel Nature, Move Electric		スペイン・バルセロナ			
日程	2013年11月17～20日			会場	Gran Via Exhibition Centre		
登録者	約1,300人	論文数	426件	出展社	192社		
主要出席者	スペイン産業エネルギー観光省事務局長、カタルーニャ州政府参事官、バルセロナ市長、欧州委員会ディレクター、日産テクニカルセンター欧州副所長他						
特記	長崎県五島列島(五島市・新上五島町)が E-visionary Award 受賞し中島副市長が挨拶。						

2-2. 参加者の傾向

1) 参加・登録者数： 約570～2,000名

2) 参加国： 約40カ国・地域

- 欧州：オーストリア、ベルギー、ブルガリア、チェコ、デンマーク、英国、フィンランド、フランス、ドイツ、イタリア、モナコ、オランダ、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、スペイン、スウェーデン、スイス
- 中東・アフリカ：トルコ、カメルーン、エジプト、エチオピア、ガンビア、南アフリカ、チュニジア、ウガンダ、サウジアラビア
- アジア・オセアニア：中国、インド、イラン、韓国、マレーシア、ネパール、ニュージーランド、台湾、タイ
- アメリカ：カナダ、チリ、米国他

3) 参加者内訳： 開催国内7割／開催国外3割

※1 WEVA：EVSの運営とEVの普及促進を目的として1990年に発足した国際組織。EDTA^{※2} (Electric Drive Transportation Association)、AVERE (European Electric Road Vehicle Association)、EVAAP^{※3} (Electric Vehicle Association Asia Pacific：アジア太平洋電気自動車協会)の三つの地域団体で構成される。EDTA、AVERE、EVAAPはそれぞれ南北アメリカ、欧州、アジア太平洋地域におけるEVの普及を目的とする国際組織で、各地域におけるEVS開催地・主催団体の選定と、EVS国際運営プログラム委員会への参加協力を行っている。

※2 EDTA：旧EVAA (Electric Vehicle Association of the Americas)。2002年EDTAに改名。

※3 EVAAP：アジア太平洋地域における電動車両の普及促進を目的として、1990年に設立された国際組織。現在4カ国(日本、中国、韓国、シンガポール)で構成。日本は旧財団法人日本電動車両協会(JEVA)が設立の主要メンバーとしてEVAAP事務局を務め、2003年7月の団体統合により、JEVAから一般財団法人日本自動車研究所(JARI)が会員資格を引き継ぎ事務局を務めている。